

# AIでアイデア創出

名古屋プロパン瓦斯（本社・名古屋市、後藤庄樹社長）は2月20日、名古屋市内で現代

アート作品をAIで解析してビジネスアイデアを創出するワークショップを開いた。後藤社長以下幹部社員15人が参加した。名古屋市美術館に展示された現代アート作品の解釈を生成AIに読み込ませ、多角的な解釈から新規事業や業務改善のヒントを得る新手法に挑戦した。

## 名プロ 現代アートに学ぶ



後藤庄樹社長

名古屋プロパン瓦斯の参加者たちはAGOMARKETING（同・東京、吾郷潤代表）の協力の下、名古屋市美術館に展示された現代アート

作品の解釈を生成AIに読み込ませ、多角的な解釈から新規事業や業務改善のヒントを得る新手法に取り組んだ。ワークショップは名古屋市美術館での現代アート鑑賞▽オフィススペース（TSUNAGARUSPACE）でのディスカッション—の2段階で実施。最初の1時

間では参加者は展示されている作品を鑑賞し、作品から感じ取ったインスピレーションや気づきをメモにとり、ディスカッションに備えた。6グループに分かれて行ったディスカッションではAGOMARKETINGで解釈したアートから得られたインスピレーションをAIに学習させ、ビジネスに活用できる示唆出しを実施。専用に開発したAIエー

ジェントが提案した解釈に対して「自分たちの事業に置き換えれば、何を示唆しているか」を話し合った。今回のワークショップの狙いは、これまでの視点をずらすきっかけとすること。参加者が現在の課題として認識する事項をAIにぶつけて回答を得ることで、これまでとは違う発想につながられる。そういった気づきが、新たなサービスや業

務に対する新たなアプローチなど、それまでは発想し得なかったビジネスアイデアを創出していく出発点となる。「われわれの業界はまだAIの活用が少ない。LPガスにはいろいろな可能性がある。作業の簡易化だけを求めてAIを活用するのではなく、従来と違った何かを生み出すことができれば」と後藤社長。吾郷代表は「AIイコール人員削減、作業効率アップだけではない。現代アートとかけ合わせること新たなものが生まれると期待している」と話した。



参加者はAIエージェントによる提案をビジネスにどう応用できるかを議論した